

取組事例

(所定外労働削減) (年休取得促進) (仕事と家庭の両立) ・多様な正社員・朝型の働き方
・テレワーク)



企業名：山形食品株式会社	所在地：南陽市漆山 1176 番地 1
社員数： 94 名	業種： 食料品製造



1 取組の目的

従業員一人ひとりが目標を持って日々取組み、働く喜びを大切にしながら社員とともに成長していく会社を目指します。

安心安全な商品を作り続けるために、働きやすい職場づくりに取り組めます。

2 取組の概要

○有給休暇の積極的取得

各製造ラインにより、繁忙期と閑散期が異なり、閑散期であれば部門間の応援体制がとれるので、部門の役職者から、閑散期に積極的に有給休暇を取得するよう声掛けを行っている。

妻の出産時に3日間の特別休暇が取得できるため、該当者に対し、特別休暇制度を周知し、積極的な取得を促している。

○所定外労働時間の削減

毎日の残業時間および、当月の累計を各ラインでリアルタイムに確認できるようシステム変更を行い、時間外労働の偏りや長時間労働にならないよう、所属長が業務分担等指示を行い、時間外労働の削減を図っている。

○業務改善

業務改善を各部署で実施し生産効率を上げている。年1回優秀改善事例や数多く提案した従業員を表彰している。

○育児・介護休業の取得促進

該当者に制度の詳細を説明し、気兼ねなく取得できる体制をつくっている。

3 取組みの効果と現状

○有給休暇の積極的取得

平成 29 年度平均 9.5 日 → 平成 30 年度平均 11.5 日

○所定外労働の削減

平成 27 年度 平均 18.5 時間 → 平成 29 年度 平均 13.6 時間

月労働時間 80 時間超 平成 27 年度 11 名 → 平成 29 年度 4 名

- 育児・介護休業の取得促進
 - 女性社員該当者育児休業取得率 100%
 - 妻の出産時の特別休暇取得率 100%
- 2019年ユースエール認定企業となる

4 今後の取組

- 事務部門はお中元やお歳暮時に繁忙なため、繁忙期を除く期間に週1回のノー残業デーを設ける。
- 有給休暇の連続取得可能体制の整備
- 有期雇用社員の無期雇用社員への積極的登用
- 多様な働き方の一環として、育児期の社員を対象にテレワークの導入を検討する（規程および環境の整備）
- ジョブローテーションにより、業務の属人化を避ける

(R2.1)